

## 有限会社 五島製作所

外国人社員にオンラインを用いた日本語研修。  
人手不足により、既存社員の多能工化。

仕事内容を理解でき、モチベーションが向上。  
多能工従業員の増員で生産性が向上。

### 1 従来の課題

Task

当社では20代から70代までの社員が在籍し、若年層の柔軟な発想力・行動力とベテランの経験・知恵の両方を兼ね備えていることが強味ですが、ベテ



ランから若手への技術継承が課題となっています。また外国人社員も重要な戦力となっていますが、仕事内容や技術をいかにスムーズに伝えていくか、文化・慣習の違いもあり時に意図したことが上手く伝わらない、考えていることが把握しづらいなど、業務上だけではないふとしたコミュニケーションに齟齬が生じてしまうことがあります。

一方、人材確保の難しさも重なるなかで短納期案件が多くなり、かつ納品前検査を求められることが多くなる中で、機械加工のスピードだけでなく検査・測定業務の強化と効率向上も重要な課題となり、その業務に専従できる社員育成も急務でした。

### 2 取組概要

Approach

DX化の流れの中で製造管理、納期管理、受注管理システムの導入により単価設定や見積作成の効率がアップ、それによって生じた余剰時間で短納期案件に対応できるようになりました。

外国人社員の日本語研修は、当社が求めている仕事に対しての「考え方」「行動」についての説明、ズレの修正を主目的として、現地に滞在して両方の文化に通じて



三次元測定機の操作

いる講師からオンラインにより日本との企業文化の違いを丁寧に説明してもらうとともに、製造現場で使われている言葉や専門用語について事前に講師と打ち合わせすることで用語対照表を利用した研修を行っていただきました。

検査担当の育成については、事務作業や洗浄、梱包、納品等の作業を担当していた社員が、測定機メーカーが主催する三次元測定機講習(入門編と実践編)を受講しましたが、コロナ禍の影響で受講受け入れ人数が制限されていたため、少人数制で丁寧に対応してもらい内容の濃い実習を受けることができました。

### 3 実施効果

Effect

日本語研修の結果、仕事上で使用する独特の専門用語について重点的に学習したことで、仕事内容を不安なく理解できるようになり、本人のモチベーション向上につながることも、新しい技術の習得に要する時間も短縮することができました。単なる語学学習に留まらず日本の会社文化についての知識も習得し、当社が求めている仕事に対する考え方を共有でき

### COMPANY PROFILE

- 業種 製造業
- 事業内容 半導体製造装置(ステッパー)部品加工、通信機器(受信部)部品加工、プリント基板外形加工、治具設計、その他精密加工全般
- 設立 1974年4月
- 代表者 代表取締役 梶山 貴司
- 所在地 川崎市宮前区平 1-2-52
- 従業員数 5名

<http://www.goto-ss.co.jp/>



ました。  
また、三次元測定機を操作できる社員の増員により検査作業の効率が改善し、多能工社員が増員できたことにより、労働時間の短縮、会社全体として短納期対応力もさらに向上しています。

#### オンライン講習の導入による効果 コミュニケーションが活発になった

単なる語学学習だけではなく、日本の会社文化についての知識も習得した。当社が求めている仕事に対する考え方を共有できたことで、周囲の日本人とのコミュニケーションも活発になった。

#### 成功要因

対話の重要性や、語学研修にあたっての目標の設定・解決方法の共有といったノウハウを会社側も認識することができた点。

#### 社員の声

研修を受講したおかげで日本語だけではなく日本の文化、日本人の考え方を理解できました。そのおかげで自分の考え方が成長し、仕事も順調にでき、社内の皆さんとの人間関係も良くなって、会社の中にいると自分が外国人だと感じないようになりました。

測定機器や測定することの大切さをきちんと理解できていること、それまで不足していたことがはっきり認識できたので、受講前に比べ自信をもって業務を行えるようになりました。不足している測定技術に関しては、その都度、確認しながら身につけ、磨きをかけていきたいと考えています。

#### 今後の展開

ベテランの社員が70代半ばなので、今後も人材確保に努力します。外国人であっても問題なく会社の戦力になるという自信が付いたことで、今回実施した日本語研修で得られたノウハウも活かしながら、今後も外国人社員の採用計画を進めて参ります。

測定機研修については、今後さらに応用的な研修の受講や、今回受講しなかった社員に受講してもらい、会社全体として技術力のさらなる向上に努めて参ります。

当社はマシンニングセンターによる精密切削加工技術で、半導体、液晶製造装置、無線・レーザ機器の部品加工を主な生産品目とするモノづくり企業です。20代から70代までの社員が在籍し、若年層の柔軟な発想力・行動力とベテラン層の経験・知恵の両方を兼ね備えた企業であり、幅広い年齢層の雇用も生み出し地域に貢献していると自負しています。

しかしその一方で、継続的な競争力維持のために若手への技術継承や社員の多能工化、外国人社員とのコミュニケーションが課題となっていました。

今回の日本語研修を通じては、従業員との対話の重要性や、語学習得にあたっての目標の設定・解決方法の共有といったノウハウを会社側も認識することができました。

また、事業の実施により社内の雰囲気も良くなり、コミュニケーションが活発になったという効果もありました。

引き続き、コミュニケーション面・技術面の双方から働き方改革・生産性向上の取組みを推進していきたいと思っております。



代表取締役 梶山 貴司